

2021 年度(令和 3 年度)
【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(集計)

公表：令和 4 年 3 月 8 日

事業所名：放課後等デイサービスガンバ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室については約 80㎡あり、また他の事業所共用している部分を除いても国基準一人当たり2.47㎡以上は確保できている。今後パーティションを設置し、空間整備を検討する。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		人員配置の面で送迎体制が取れておらず他事業との協力体制を取っているが、次年度より人員の確保次第、送迎体制を整えていく。 個別サポート加算対象者がいる場合、他事業所の連携したり、応援体制を取ったりして対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差等について建物事態がなされているが、トイレの広さや手すりの配置は最小限となっているため、不自由なケースも見られるため、人員を当てて対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々振り返りを行いながら改善に努めている。気付いた点に関してはその都度話し合うなどして職員間で情報交換をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	現在実施中であり、今回実施して意向等把握し、事業所で検討し改善を図っていく。結果がまとまり次第法人 HP で公開する。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	現在実施中であり、今回事業所で検討し改善を図っていく。結果がまとまり次第法人 HP で公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者と事業所評価のみとなっているが、今後必要に応じて実施を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナウイルスの流行のより外部への研修は控えている状況だが、オンラインでの研修については月1～2回程度実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談等で本人や保護者からのニーズを吸い上げ自由時間、個別課題、活動プログラム等色々な活動に取り組めるよう計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを導入できるように話し合いを行い検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフで支援内容を検討しており、場合により児童発達管理責任者がプログラムについてアドバイス等を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各利用者の方を考慮したプログラム作りを行うなど工夫している。 月に一度集団活動については検討、または振り返りを行っており、マンネリ化をしないように常に新鮮さを与えられるよう改善するようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日の時間内に出来ない内容を長期休暇プログラムに取り込んでいます。平日、長期休みの事業を実施しているため、時間を有効活用しながら課題を設定できるようにしていく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。また利用時間や利用メンバーによって活動を設定するようにしている。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前の打ち合わせ、準備、シミュレーション、役割分担の確認を行っている。活動後には振り返りを行い、次回の改善に繋げている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			担当者間で振り返りを行い、改善点や気付いたことを共有し、次の支援に生かせるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動記録を取る際に気になる点などをまとめ会義等で分かるように記入するように心がけている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			利用開始から6か月まで、その後6か月ごとにモニタリングを実施し計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		会議の際にガイドラインを見直し支援に反映させていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議については児童発達管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者を通して予定や時間の確認を行うようにしている。放デイでは送迎をしていないため、他事業所と連携し情報共有をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在のところは医療的ケアが必要な子供の受け入れは想定していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	対象となる児童がいらないため実施していないが、今後対象者がいれば対応していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象となる児童がいらないため実施していないが、今後対象者がいれば対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	受けていないため、必要に応じて検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍ということもありなかなか機会を設けることができなかったため今後必要に応じて検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	現状参加していない。今後参加できる機会がいただければ参加させていただく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	ニーズや課題、子どもの状況に変化が生じた場合や新たな対応が必要になったとき、共通理解を図ったうえで支援を行っていく。 サービス提供記録についてもシステムを導入しており、保護者がいつでも子どもの利用状況について見ることができる環境を整えています。システムが不得手な保護者に関しては紙媒体での記録を渡したり口頭での報告をするなどの対応を行っていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要性は十分に感じているが、準備不足のため、実施には至っていない。今後検討していく。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明は行っているが、言葉足らずな部分があるかもしれない為、家族へは何かあれば確認していただくようお願いしている。	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者の方から相談等があった場合にその都度対応を行っている。	
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は行っていない。家族、保護者等より希望があれば検討していく。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情窓口についての説明は行っている。苦情があった場合は即座に事実を確認したうえで対応策を検討し保護者へお伝えし改善している。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			地域の事業所がまとまった広報紙を作成し、活動状況を発信しているが、希望者のみとなっているので、全ての利用者へ発信できるように検討する。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いや写真に関する取扱いについては契約時に書面にて説明を行い、同意を得ている。個人ファイルは施錠ができるロッカーに管理し、システムについてはオンラインで管理するため、ログインのためのパスワードを設定するなど、個人情報には十分注意している。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			出来る限り時間をかけたり、目で分かるようなツールを活用してはいるが、不足している点は多くみられる。今後様々なケースに対応できるようにしていく。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍ということもあり実施することが出来なかった。今後、地域に開かれた行事など開催を検討していく。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員へは周知しているが、保護者については周知していない。今後についてはしっかりマニュアル等を整備したうえで早急に周知を図っていく。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	今年度については数回のみしか実施してはなかったが、次年度については計画をしっかりと毎月実施できるように検討している。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員間で冊子などを用いて読み合わせを実施している。来年度は定期的に読み合わせを行い、職員間で虐待防止に努める。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	契約時に説明を行い、身体拘束に関する同意書を頂いている。やむを得ない理由で身体拘束を行う場合でも事前に説明を行う。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アセスメントや保護者からの情報をもとに対応しているが、より細かく把握するために書面等を用いて確認し検討していく。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットについては適宜記録に残してはいるが、共有までには至っていない。今後会議などで共有を行い、対策していく。